

## 地方独立行政法人徳島県鳴門病院の令和 6 年度に係る業務の実績に関する評価結果の概要について

地方独立行政法人法第 28 条第 1 項第 3 号の規定に基づき、「地方独立行政法人徳島県鳴門病院」の令和 6 年度における業務の実績について、地方独立行政法人徳島県鳴門病院評価委員会から意見を聴取の上、徳島県知事が評価を実施した。

### 1 全体評価

第 3 期中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる。

### 2 項目別評価

S 評価 2、A 評価 7、B 評価 13、C 評価 2、D 評価 0 （計 24 項目）

#### ＜項目別評価一覧＞

大項目 中項目 小項目	R6	
	自己 評価	県 評価
住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	—	—
1 診療事業	—	—
(1) 良質かつ適切な医療の提供	A	A
(2) 患者の視点に立った医療の提供	A	A
(3) 救急医療の強化	A	A
(4) がん医療の高度化	C	C
(5) 産科医療や小児医療の充実	A	B
(6) 特色ある医療の更なる推進	A	A
(7) 地域住民の健康維持への貢献	A	A
2 役割・機能の最適化と連携の強化	—	—
(1) 病院の果たすべき役割・機能の充実・強化	S	S
(2) 機能分化・連携強化	S	S
3 感染症対策の推進	B	B
4 災害時における医療救護	A	A
5 医師・看護師等の確保と働き方改革	—	—
(1) 質の高い医療従事者の確保・養成	A	A
(2) 医師の働き方改革への対応	B	B
(3) 看護専門学校の充実強化	C	B

大項目 中項目 小項目	R6	
	自己 評価	県 評価
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	—	—
1 業務運営体制	—	—
(1) 効果的な業務運営の推進	B	B
(2) 職員の就労環境の向上	B	B
2 業務運営方法	—	—
(1) 収入の確保	B	B
(2) 費用の抑制	B	B
予算、収支計画及び資金計画	C	C
短期借入金の限度額	B	B
重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画	—	—
剰余金の使途	B	B
その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	—	—
1 施設及び設備に関する事項	B	B
2 デジタル化への対応	—	—
(1) 情報システム等を活用した取組の推進	B	B
(2) 情報セキュリティ対策の徹底	B	B
3 積立金の処分にに関する計画	—	—

#### (参考) 評価の区分

##### ＜法人の自己評価＞

S	年度計画を大幅に上回って実施している。(特に優れた実績)
A	年度計画を上回って実施している。
B	概ね年度計画どおり実施している。(達成度が概ね 9 割以上)
C	年度計画を十分に実施できていない。(達成度が概ね 6 割以上 9 割未満)
D	年度計画を大幅に下回っている。(達成度が 6 割未満)

##### ＜県の評価（評価委員会の検証）＞

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる。
B	中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる。
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている。
D	中期目標の達成のためには重大な改善事項がある。

### 3 項目別評価の主な内容

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### <救急医療の強化>

○救急搬送要請の受入不可事例の事後検証や、意見交換会や症例検討会の開催による救急医療圏内消防本部との円滑な連携により、地方独立行政法人設立以降、最多の救急搬送患者を受け入れ、県北部における主要な2次救急医療機関としての役割を果たしていることから、順調に進んだと評価する。

#### <がん医療の高度化>

○集学的治療の推進や人間ドック、がん検診、術後患者の早期離床に向けたリハビリテーションなどに取り組んでいるが、がん入院患者延数など数値目標が達成できなかったことから、やや遅れていると評価し、この項目については、改善策の実施が求められる。

#### <病院の果たすべき役割・機能の充実・強化>

○在宅療養後方支援病院として、連携医療機関との情報共有や緊急入院への対応に取り組むとともに、地域包括ケア病棟の運用開始により、急性期から回復期への適切な医療の提供が可能となり、地域医療構想を踏まえた病院の果たすべき役割や機能の明確化が図られていることから、特筆すべき進捗状況にあると評価する。

#### <災害時における医療救護>

○吉野川北岸で唯一の災害拠点病院として、地域と一体になった災害訓練の実施やBCPの見直し、災害備蓄品の計画的購入、DMAT隊員の養成、訓練・研修への積極的参加による体制の強化などに取り組んでいることから、順調に進んだと評価する。

#### <質の高い医療従事者の確保・養成>

○医療人育成センターの専任センター長の招へい、臨床研修看護師制度や人材育成計画・職種別キャリアラダーの運用により、計画的な人材育成が図られていると認められることから、順調に進んだと評価する。

業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

#### <効果的な業務運営の推進>

○診療科、部門別のヒアリングの実施や職員提言BOXの設置により、意識改革や組織の活性化に取り組むとともに、処遇改善や昇給停止年齢の引き上げを行うなど、職員の能力の適正な評価やモチベーションの向上に取り組んでいることから、概ね順調に進んだと評価する。

#### <収入の確保>

○ベッドコントロールミーティングの実施により、救急搬送患者の受入等に取り組んだことにより、入院収益は、令和6年度において過去最大となったことから、概ね順調に進んだと評価する。

#### <費用の抑制>

○県立病院との共同交渉や全国共同購入組織との連携、院内物流管理システムの運用などによる経費削減に取り組んでいることから、概ね順調に進んだと評価する。

### 予算、収支計画及び資金計画

#### <予算、収支計画及び資金計画>

○経常収支比率等について、数値目標を大きく下回り、法人化後最大の赤字額を計上した令和5年度に続き、厳しい経営状況であることから、やや遅れていると評価する。今後は、更なる「収入の確保」及び「費用の抑制」に職員が一丸となって取り組み、経営基盤の強化を早急に図る必要がある。

	令和6年度	令和5年度
収 入	7,747,429,315円	7,541,463,845円
支 出	8,580,844,817円	8,378,948,073円
純 損 益	▲833,415,502円	▲837,484,228円

### その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

#### <施設及び設備に関する事項>

○県の資金貸付金制度を活用し、X線CT装置、3D対応内視鏡システムなどの計画的な整備が図られていることから、概ね順調に進んだと評価する。

#### <情報システム等を活用した取組の推進>

○マイナンバーカードの利用促進や、システムエンジニアと連携した各種情報システムの活用による業務効率化が図られていることから、概ね順調に進んだと評価する。